目　次

1 清の全盛期…………………………………………………………………… p 2

2 アヘン戦争～辛亥革命………………………………………………………… p 3

3 20 世紀前半の中国史 ………………………………………………………… p 6

4 中華人民共和国 ……………………………………………………………… p12

5 朝鮮史 ………………………………………………………………………… p16

〈予習の方法〉

空欄に適切な語句を入れなさい。全ての下線を点検しなさい。各ページに必ず1つ下線に誤りがあります。選び出し訂正しなさい。何も見ないでやってみるのが望ましいですが，諸々の教材を見ながらでもかまいません。必ず予習をしてから受講しましょう。

1 清の全盛期

まず清の帝室，愛新覚羅(アイシンギョロ)氏12人の君主名の確認。

１ヌルハチ，２ホンタイジ，３順治，４康熙，５雍正，６乾隆(1735～95)ここまでが元気。翌1796年の白蓮教徒の乱でこけ始め，７嘉慶，８道光，９咸豊(妻が西太后)，10同治，11光緒，12宣統帝溥儀がラストエンペラー。

アルタイ語系のツングース系女真族建州部のヌルハチは1616年に後金を建国。彼らは自らをマンジュ（満州)と名乗る。1619年には，明をサルホの戦いで圧迫する。(　1　)という軍事組織をつくる。ホンタイジは1635年にモンゴル系の部族チャハル部(タタール部の末裔)を攻略した際，元朝皇帝に伝わる玉璽を得て1636年には国号を清とする。この頃の中心地は瀋陽だった。

明では過酷な税に対し，しばしば抗租運動が起きていたが，とりわけ1631年に始まる李自成の乱の結果，毅宗崇禎帝が首吊り自殺して1644年明は滅亡，北京の紫禁城の主は李自成となる。満州との境，山海関を明の遺将の呉三桂が守ったが北京の美人妻を主人の李自成に取られると，怒って満州人を北京に手引きした。こうして1644年に満州人が北京に入城し幼い順治帝が紫禁城の主となり，満州人の北京支配が始まった。呉三桂らは三藩として華南を支配した。

ところで明王室は1628年に海賊の親分だった鄭芝竜という人物に，清と戦うよう頼み兵力と資金を渡した。

【康熙帝】　次の康熙帝は1661年(ルイ14世が親政を開始した年)に即位した。1661年には遷界令を出して中国沿海の住民に奥地への強制移住を命じ鄭氏台湾の孤立を図る。華南を直接支配しようとして1673年から呉三桂らによる三藩の乱が起き1681年に平定し，1683年には鄭氏台湾を攻略し中国を統一した。鄭氏の反清運動に，のちの鄧小平の祖先が参加している。ちなみに鄭芝竜の子鄭成功(近松門左衛門，国姓爺合戦)は1661年に台湾からポルトガル人を駆逐していた。

清は漢民族を緑営として軍事組織化した。漢民族に対してはアメとムチで対応。アメとしては科挙を奨励し満漢偶数官制で漢民族の頭脳を登用，ムチとしては辮髪(弁髪)令を出し拒めば死刑，また文字の獄で反清思想を弾圧した。

北にロシアがアルバジン城を築くと交戦，1689年のネルチンスク条約でロシアのピョートル１世とアルグン川とスタノヴォイ山脈＝外興安嶺を境とした康熙帝の命で編纂された字書が康熙字典，百科事典が『古今図書集成』。そして康熙帝の時，典礼問題と地丁銀が始まった。

典礼問題とは何か。中国人カトリック教徒が孔子や祖先崇拝の儀礼(典礼)に参加することの可否を巡る論争のことだ。イエズス会は典礼を容認，ドミニコ派・フランチェスコ派は否定した。(教皇クレメンス11世は典礼を否認)康熙帝は典礼否認諸派の中国伝道を禁止(1706)雍正帝はキリスト教布教を全面的に禁止した。(1724)

康熙帝は1711年以降増えた人丁は丁銀を免除する盛世滋生人丁を実施。それは雍正帝で地丁銀になる。背景として富裕地主が丁数(成年男子)をごまかしていたことと貧困農民の未納増加。地丁銀により，丁銀(人頭税)を地銀(地税)に組み込み一括徴税，人頭税が廃止。新大陸からじゃがいも・とうもろこしが伝わり人口が増加していた。

【雍正帝】 雍正帝の時の1727年のキャフタ条約でモンゴルとシベリアの国境が画定，キャフタはバイカル湖の南だ。側近による政治が深化し(　2　)が設置された。

【乾隆帝】 1735～95年は乾隆帝の治世である。モンゴル系オイラート部の末裔で最後の遊牧帝国ジュンガル部の拠点イリを落とし，イスラーム系トルコ人ウイグル族の回部つまり東トルキスタン，タリム盆地(その大半がタクラマカン砂漠)と合わせて新疆とした。また，チベットも支配下に置き，こうして満漢蒙回蔵の５族支配が完成，現在の中華人民共和国の領土の原型が整った。土着の有力者による支配を改め(改土)漢人を中央から派遣する(帰流)明代以降の統治策，改土帰流が受け継がれた。外モンゴル，新疆，チベット，青海を総称して藩部といった。また藩部の管理事務機関を理藩院という。満漢が直轄地，蒙回蔵が藩部だ。

乾隆帝の命で編集された叢書が『百科全書』。５民族の言語対比辞典が『五体清文鑑』だ。

2 アヘン戦争～辛亥革命

嘉慶帝の1796年には白蓮教徒の乱という農民反乱が起き，八旗や緑営という正規軍より義勇軍である郷勇が鎮圧に活躍した。

清は北方に対しては遊牧世界の盟主として振る舞い，南方に対しては征服王朝でありながら明の中華思想と中国伝統の華夷秩序つまり冊封体制，地大物博であるゆえ対等の貿易を必要としない朝貢体制を継承した。

珠江の河口都市広州は1757年に唯一の貿易港とされた。そして広州には公行＝広東十三行という貿易特許商人が置かれた。

1793年にはマカートニーが熱河で乾隆帝と謁見したが貿易拡大交渉は失敗，1816年のアマーストは三跪九叩頭の礼を拒否したので，嘉慶帝に謁見できなかった。それでイギリス東インド会社は(　3　)を通じ清朝中国にアヘンを売り込んだ。

【アヘン戦争】　道光帝が個人的にアヘンを嫌っていたこともあり1839年に林則徐が広州でアヘンを焼却するとイギリス議会は僅差で開戦を可決し1840年アヘン戦争が勃発した。時の英外相はパーマストンだ。

1842年の南京条約では広州，厦門，福州，寧波，上海の５港が開港，公行は廃止，香港島がイギリスに割譲された。その後の五港通商章程で領事裁判権がイギリスに初めて認められた。1843年の虎門寨追加条約では片務的最恵国待遇などが追加された。1844年にはマカオ郊外でアメリカと望厦条約，同年，広州郊外でフランスと黄埔条約という南京条約とほぼ同様の条約を結んだ。南京条約で開港した港に設置された外国人居留地を租界という。

林則徐の依頼で『海国図志』を著したのが魏源でこれは幕末の日本でも読まれた。アヘン戦争での清の敗北は江戸幕府にとっては大事件であったが，朝鮮の王宮は中国ばかり見ていたので，近代化の必要に気付くのに遅れた。

【太平天国の乱】　近代中国史上最大の反乱が1851 ～ 64年の太平天国の乱だ。この反乱では3000万人が死んだ。

科挙に失敗した洪秀全はキリスト教的結社，上帝会を結成，上帝とはヤハウェのことだ。江西省金田村で挙兵。よそ者という意味の客家を中心に信者を増やし，スローガンは滅満興漢，弁髪，纏足を禁止し天朝田畝制度で男女の別なき土地の均分を目指したが実施はされなかった。一時は南京を占領し，天京と称したが，郷勇と常勝軍に滅ぼされた。漢人有力者の義勇兵である郷勇の代表が，曾国藩の湘勇，李鴻章の淮勇。

外国人部隊の常勝軍の代表が，アメリカ人ウォード，イギリス人ゴードンでのちマフディーの乱の時スーダンのハルトゥームで戦死。清の正規軍の八旗と緑営はアヘンで消耗していた。

また，太平天国とほぼ同時期に長江以北を中心に活動した農民反乱軍を捻軍という。

【アロー戦争】　南京条約後も期待したほど製品の輸出がのびずに一層の市場拡大を目指していたイギリスは，1856年に広州停泊中の英船籍のアロー号が海賊容疑で臨検され中国人船員が逮捕されたことを英国旗ユニオンジャックへの侮辱であるとしアロー戦争を起こした。また，フランスもお得意のフランス人宣教師殺

害事件を口実にナポレオン３世が開戦した。同時期，英仏両国はクリミア戦争でも共同歩調をとっている。

1858年の天津条約では外国公使の北京駐在，アヘン貿易の公認，南京など開港場の増加，キリスト教布教の自由，外国人の中国内地旅行の自由などが取り決められた。その批准交換の英仏使節が砲撃されたので両国は再び遠征軍を送り，戦闘再開，北京を占領した英仏により1860年，（　４　）は破壊された。ちなみにこれは乾隆帝時代にイタリア人カスティリオーネにより設計されたものである。1858年のアイグン条約でロシアの東シベリア総督はムラヴィヨフで清とロシアの国境線はアムール川＝黒竜江となり沿海州は両国の共同管理となった。1860年の北京条約では，まず天津条約が批准交換され，天津の開港，九竜半島南部の割譲が追加された。調停したロシアとの北京条約で沿海州はロシア領となり，のちにロシアはウラジヴォストーク（ロシア語で「東に突撃せよ」）を建設した。

【洋務運動】　1861年に外国との事務を扱う総理各国事務衙門が設置された。

曾国藩・李鴻章・左宗棠らが「中体西洋」をスローガンに洋務運動に着手した。中国の制度を本体に置き，西洋の軍事技術を用いるということだ。

アロー戦争直後の穏やかな時期を同治中興という。

【日清戦争】　甲午農民戦争（東学党の乱）を機に朝鮮支配を巡って日清戦争が起きた。日本は海陸両軍で清を圧倒し，戦後，不平等条約を改正し，帝国主義列強への道を歩む。1895年の下関条約の全権は伊藤博文と李鴻章。実際のところ日本は李鴻章と戦ったのだ。朝鮮の完全独立つまり清の干渉権放棄と，清には遼東半島，台湾，澎湖諸島の日本への割譲や賠償金の支払いが課された。日本は清から開港場での企業設立権を獲得し，中国への資本投下を本格化した。

しかし，李鴻章がロシアに接近した結果，ロシアが，仏，独をさそって，日本にいわゆる三国干渉をして遼東半島は清に返還させられた。

【変法自強運動】　日清戦争の影響の１つ目が洋務運動の限界が露呈したこと。敗北の反省から1898年に考証学に批判的な公羊学派の康有為や梁啓超らが中心となって，日本の明治維新をモデルに西欧型の議会政治による立憲政治を目指す変法自強運動だ。光緒帝により登用された彼らの戊戌の変法は，西太后の弾圧と袁世凱の裏切り，いわゆる戊戌の政変で頓挫し百日維新で終わった。

【列強の中国分割】　日清戦争の影響の２つ目が，1898～99年の中国分割だ。旅順・大連をロシアが租借。のちに日本が日露戦争に勝ってからは関東州になる。膠州湾をドイツ，広州湾をフランス，威海衛をイギリス，九竜半島（新界）をイギリスが租借した。

【義和団事件】　山西省を本拠のキリスト教に反感を抱いた白蓮教系の結社が義和団で(　5　)，除教安民をスローガンに義和団事件(1899～1901)を起こした。電線・線路・教会など西洋列強が建設したものに攻撃を加えた。背景には，西洋列強が敷いた鉄道により失職した輸送業者たちの憤りがある。また，19世紀後半には仇教運動と呼ばれる反キリスト教運動が中国各地で起きていた。教案という暴力行為も頻発していた。８国が共同出兵し，1901年の北京議定書(調印は11国)で４億５千万両の賠償金とともに列強の北京駐兵権が承認され，中国の半植民地化が決定した。

3 20世紀前半の中国史

【清の改革】　20世紀に入ると清朝も新政(光緒新政)詔勅を出し体制内の改革を行った。1905年には科挙を廃止し学校出身者を官吏に登用し，同年に新軍つまり陸軍の軍制を制定，1908年には憲法大綱を出し，国会開設公約により，９年後の国会開設を約し，法による支配の方向性を示した。この年，西太后が死去し，宣統帝溥儀が２歳で即位した。1911年には，軍機処が廃止され，責任内閣制度を採用，北洋軍閥の総帥で李鴻章の後継者である袁世凱が内閣総理大臣に就任した。

【孫文の革命準備】　孫文は1894年にハワイで興中会を組織した。これに1904年に日本に留学していた学生を中心に結成された光復会(蔡元培らによる)，華興会などの革命諸団体が加わって，日露戦争の勝利に沸く1905年の東京で中国同盟会を設立し，民族の独立，民権の伸長，民生の安定を目標に三民主義を唱えた。蔣介石も日本で参加する。中国から外国勢力を排除する駆除韃虜，漢民族国家を回復する恢復中華，創立民国，平均地権(孫文はマルクス主義の影響を大いに受けている)をスローガンとした。機関誌は民報。

当時，民族資本により，列強に奪われた鉄道敷設権や炭鉱採掘権などの(　6　)が起きていた。

【辛亥革命→中華民国】　1911年清朝が，北京議定書における莫大な賠償金を支払うために外国から借金をする際の担保とするため，幹線鉄道国有化宣言を出し鉄道経営を列強に委ねようとすると，四川暴動が起き，それを鎮圧するため湖北新軍が派遣されたが，1911年10月10日に中国同盟会員が画策した湖北省の新軍が武昌で蜂起した。これが辛亥革命(第一革命)で，14省が独立を宣言し，1912年１月１日に中華民国が建国され孫文が南京で中華民国臨時大総統になった。(辛亥革命の当日，孫文はアメリカ・コロラド州に滞在中でホテルの英字新聞で革命を

知った)清朝は袁世凱を革命政府討伐軍の司令官としたが袁世凱は革命派と取引し２月に宣統帝溥儀を退位させた。３月に袁世凱は孫文との約束を破り北京で臨時大総統に就任した。憲法制定までの暫定基本法が臨時約法だ。

宋教仁は1912年に中国同盟会を中心に反袁世凱の議会内野党，国民党を結成したが，彼は袁世凱に殺された。孫文らは1913年に第２革命，しかし失敗，14年には東京で秘密結社，中華革命党を結成した。袁世凱は帝政復活運動を展開，これに対して1915年，第３革命となり，袁は16年帝政取り消しを宣言した。

この間，1914年は第一次世界大戦が勃発，日英同盟を根拠にドイツに宣戦布告した日本はチンタオ(青島)を攻撃し，大隈重信が袁世凱に，ドイツの勢力圏であった山東半島における権益を認めさせる二十一カ条の要求をつきつけ中国政府はそれを受諾した。(国恥記念日)

袁世凱は1916年に病死，以後1928年まで中国は，袁世凱の後継者で北京を支配した段祺瑞や張作霖ら軍閥の抗争の場と化し，各軍閥は資本主義列強の支援をとりつけ中国の分裂を助長した。

【文学革命】（　７　）をスローガンとした文学革命は1917年に白話運動を中心として展開した。陳独秀が1915年に上海で発刊した『青年雑誌』が16年に『新青年』となり，白話運動(口語運動)や新文化運動を強力に支えた。アメリカ留学でプラグマティズム(実用主義)の影響で儒教思想を批判し白話文学を提唱したのが胡適(『文学改良芻議』)。早稲田大学に留学後，北京大学で教授になったマルクス主義者で五・四運動の理論的指導者になり1924年の第１次国共合作にも貢献したが27年に張作霖に処刑されたのが李大釗。初の白話文学『狂人日記』で伝統と儒教を批判し，『阿Q正伝』で悲惨な現実をみきわめようとしない中国民衆の意識を徹底的に批判したのが魯迅。

【五・四運動】　５度目の国恥記念日を数日後に控えた1919年５月４日に北京で大学生が中心に五・四運動が起こった。これは第一次世界大戦のパリ講和会議で二十一カ条の要求廃棄要求が拒否されたから起きた。中国政府はヴェルサイユ条約調印を拒否した。反帝国主義・反封建主義・軍閥打倒・排日の愛国運動に発展し，中国民主主義革命の発端となった。

【第１次国共合作】　1919年に中国国民党は大衆政党となる。同年，ソヴィエト政権の外務人民委員代理のカラハンがカラハン宣言で帝政ロシアが結んだ不平等条約を破棄すると宣言した。1921年に毛沢東を委員長として上海で結成されたのが中国共産党だ。この時期，ロシアのレーニンらボリシェヴィキによるソヴィエト政権はネップ(新経済政策)で資本主義をいくらか許容しており，歩調を合わせ

☆20世紀前半

1911〔　5　〕革命　1912〔　6　〕建国　1915〔　7　〕要求　1927〔　9　〕出兵　1931〔　10　〕事件（満州事変）　1937〔　11　〕事件（日中戦争）

1919〔　8　〕運動

WWⅠ 1914－1918

WWⅡ 1939－1945

革命

1894
〔　1　〕会＋α＋β＝〔　3　〕会
〔　2　〕が
ハワイで

1905
〔　3　〕会
孫文
〔　4　〕

1914
中華革命党
孫文
東京

1919
中国〔　12　〕党
孫文
上海

1949
中国国民党
〔　13　〕は
〔　14　〕へ

第１次国共合作 1924

第２次国共合作 1937

1915 文学革命
〔『　15　』〕陳独秀
“デモクラシーとサイエンス”

1921
中国〔　16　〕党
陳独秀
〔　17　〕で設立

1931
中華ソヴィエト共和国
臨時政府
江西省
〔　18　〕

1949.10.1
中華人民共和国
主席 毛沢東
首相〔　19　〕
北京

た中国共産党もブルジョワと妥協，コミンテルンつまり第3インターナショナルは国民党(孫文はロシア共産党のボロジンを顧問として受け入れた)にも接近し，1923年の孫文＝ヨッフェ会談を受けて，1924年に軍閥を共通の敵として第１次国共合作が成立，国民党は三民主義を発展させて(　８　)をスローガンとした。毛沢東も国民党に入党した。同年，打倒軍閥のため広州に黄埔軍官学校が設立され蔣介石が初代校長に就任した。(共産党の周恩来が副校長)

1925年３月孫文は病死，上海の日本人経営の紡績工場で中国人労働者が暴動，殺傷事件に発展した五・三〇運動が起きた。結果として資本家の労働者に対する態度は冷淡になる。７/１には広州国民政府，正式には中華民国国民政府(今日の台湾のもと)が成立した。

【北伐】　この頃，国民党の蔣介石は北の軍閥を掃討する軍事行動北伐を主張，ソ連のアドバイスでそれを時期尚早とする汪兆銘と対立し始める。蔣介石の最初の反共的行動は，1926年の中山艦事件(艦長が共産党員の艦船の行動に対して抗議し共産党員を逮捕，ソ連顧問団の住宅を包囲した事件)だ。第１次国共合作の結果1927年１月に国民党左派と共産党でつくったのが汪兆銘の武漢国民政府。共産主義嫌いの蔣介石ら国民党右派が４月につくったのが南京国民政府。蔣介石は浙江財閥の娘宋美齢の夫として，帝国主義諸国と浙江財閥の求めに応じ，共産党員と労働者を多数虐殺した。これが1927年４.12クーデタ＝上海クーデタだ。蔣介石に妥協した国民党員や共産党員の要請で汪兆銘が復帰し，武漢政府は同年９月これに合流した。これで第１次国共合作は破綻した。

【山東出兵】　1922年のパリ講和会議における中国に関する九カ国条約で，日本の中国における特殊権益を認めた第一次世界大戦中の1917年の石井＝ランシング協定が破棄されたので，日本軍は山東省から撤兵していた。が，1926年に北伐が開始し，27年の南京事件で外国人が襲撃されると田中義一内閣は邦人保護を名目に27年の第１次，28年の第２次山東出兵を敢行，その際，日本軍が市民数千人を虐殺する事件済南事件が起きた。これで中国人の対日感情は悪化した。

北伐軍はそれを迂回して北京に入り，東３省(奉天つまり現在の遼寧省・吉林省・黒竜江省＝３つまとめていわゆる満州)を拠点とした奉天軍閥の総帥で日本の支援を受けていた張作霖を北京から追放し1928年６月に北伐が完成，中国国民革命は一応完成した。

【奉天事件】　張作霖は奉天へ帰る途中に爆死，これは日本が中国東北部の直接支配をねらった結果だと当時から報道された。しかし，息子の張学良は国民政府に忠誠を誓い，青天白日満地紅旗(国民党の旗)を掲げた。こうして南京の蔣介石

の支配が満州にも及ぶことになった。

【(　9　)】 1927年の南昌における八一起義で中国共産党の軍隊紅軍が誕生，海豊・陸豊に中国初のソヴィエトができ，28年には湖南・江西省境の井崗山を革命根拠地とした。1931年には江西省瑞金に毛沢東を主席として(　9　)ができた。紙幣や公債の発行や徴税も行われ，憲法大綱もつくられた。現在の中華人民共和国の原点だ。

【満州事変】 1931年９月18日に関東軍は奉天郊外の柳条湖事件＝満州事変を起こした。国際連盟の調査委員会であるリットン調査団は日本の侵略であるとしつつ中国東北部の日本の権益を大幅に認めた。それで1932年に溥儀を擁立し満州国を建国，首都新京(長春)。同32年日本人殺害事件を口実に日本海軍が戦闘を開始した上海事変を起こし，英米仏伊の調停で停戦した。1933年には国際連盟がリットン調査団の報告に基づいて満州からの撤兵勧告案が採択されたので，それを不満として国際連盟から脱退した。中国政府は，塘沽停戦協定で事実上，満州国を認めた。

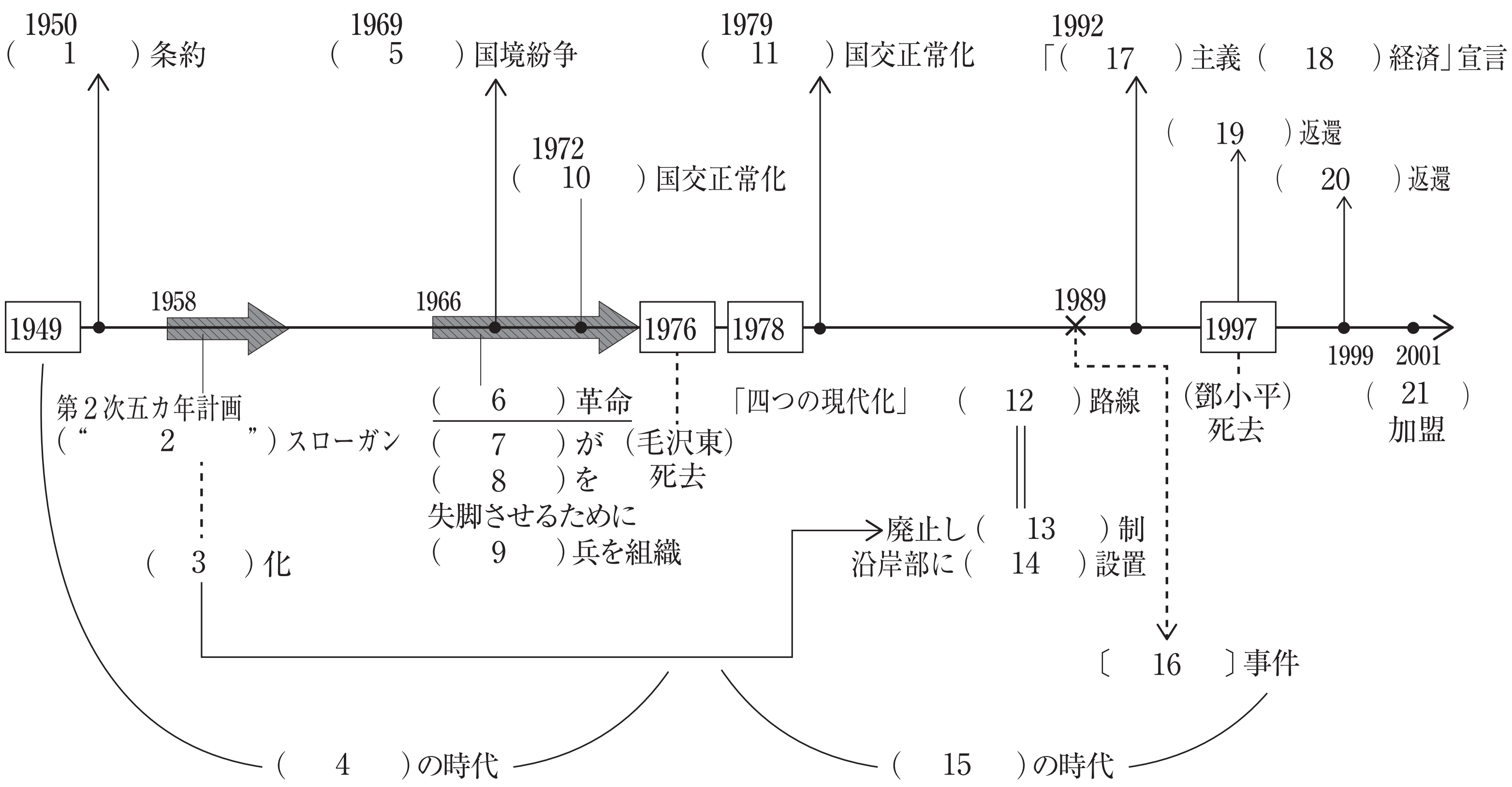
　蔣介石は，黄埔軍官学校以来の直系の軍事力と蔡元培ら国民党の元老の支持や浙江財閥の豊富な資金力で中央集権化を推進した。国民党は幣制改革を実施し法幣を発行した。

【長征(大西遷)】 1934年10月から1936年10月まで，中国共産党の紅軍が国民党の圧迫を受けて，江西省瑞金から陝西省延安まで大移動したのが長征(大西遷)。その間の遵義会議でモスクワ留学組の王明から毛沢東に主導権が移行した。1935年８月１日，抗日民族統一戦線結成とそれを阻む蔣介石政権の打倒を呼びかけた八・一宣言を出した。同年，日本は冀東防共自治政府を河北省東北部(北京と万里の長城の間)につくり，日本商品の密輸の拠点として中国経済に打撃を与えていた。

【西安事件】 1936年，張学良と楊虎城は蔣介石を西安に幽閉，共産党の周恩来の説得で蔣介石は抗日に同意した(西安事件)。張学良としては自分の兵力を，ボスである蔣介石の共産主義者との内戦に使うのではなく，父の仇討ち対日戦に兵力を温存しておきたかったと考えられる。

【盧溝橋事件】 1937年７月７日，北京郊外の盧溝橋事件から日中戦争突入，９月には第２次国共合作が成立，12月の日本軍の南京占領時にいわゆる南京虐殺事件が起きた。1938年から46年まで蔣介石の政府は武漢に遷都した。蔣介石のライバル汪兆銘は南京国民政府を1940年につくったが，日本の傀儡政府であり，汪兆銘は大東亜会議に出席した。(第二次世界大戦中の日本は大東亜共栄圏構想)

☆中華人民共和国


1950
（　1　）条約
1969
（　5　）国境紛争
1979
（　11　）国交正常化
1992
「（　17　）主義（　18　）経済」宣言
1972
（　10　）国交正常化
（　19　）返還
（　20　）返還
1949
1958
1966
1976
1978
1989
1997
1999
2001
第２次五カ年計画
（“　2　”）スローガン
（　3　）化
（　6　）革命
（　7　）が
（　8　）を
失脚させるために
（　9　）兵を組織
（毛沢東）
死去
「四つの現代化」
（　12　）路線
廃止し（　13　）制
沿岸部に（　14　）設置
（鄧小平）
死去
（　21　）
加盟
〔　16　〕事件
（　4　）の時代
（　15　）の時代

4 中華人民共和国

「鉄砲から政権が生まれる」

毛沢東はこのように述べ新民主主義革命論を展開した。1919年の五・四運動からを革命の第１段階，社会主義国家建設を新しい段階と見なした。

日本がポツダム宣言を受諾し第二次世界大戦が終わった。ソ連は共産党ではなく国民党を正統な政権と見なした。中国を「生産様式が遅れているので革命を担える労働者階級は存在しない」というマルクスの分類に当てはめたからだ。

【国共内戦】　再発した国共内戦は政治協商会議で停戦が模索されるも国民党が拒否した。八路軍（華北・旧紅軍）と新四軍（江南）が人民解放軍として改編された共産党の軍隊になると，ソ連は日本軍から接収した武器を提供した。そのうえ共産党が中国土地法大綱を出し地主制廃止を宣言したので，農民は共産党支持にまわった。

【中華人民共和国】　蔣介石と国民党は台湾に逃れ，人民政治協商会議を経て1949年10月１日北京に中華人民共和国が成立した。国家首席毛沢東，首相周恩来，共産党の一党独裁だ。アメリカ合衆国は中国白書で不介入を宣した。

翌1950年，中ソ友好同盟相互援助条約が結ばれた。それゆえ朝鮮戦争では中国人民義勇軍を派遣した。同年，自作農の生産意欲を高めるため農地改革を実施。

毛沢東は三反五反運動で浪費や汚職を引き締めた。1958年に始まる第２次五カ年計画（スローガンは（　10　））で鉄鋼増産と農業の集団化（人民公社化）を進めたが失敗し約4000万の餓死者を出した。毛沢東は国家首席を退き劉少奇が就任した。

核兵器保有問題や1956年のフルシチョフのスターリン（独裁）批判の影響で中ソ論争が始まる。北京政府と対立するチベット仏教の指導者ダライ＝ラマ14世がインドに亡命，そのインドとソ連が友好関係にあることも論争に拍車をかけた。極めつきは，キューバ危機後の部分的核実験停止条約をソ連が英米と調印したことで中ソは公開論争となった。そしてフルシチョフが失脚した1964年嘲笑うかの如く中国が原爆実験に成功した。とうとう1969年にはウスリー川のダマンスキー島（珍宝島）における武力衝突になった。

1966～76年の文化大革命とは何か。

大躍進の失敗で第一線を退いた毛沢東の奪権闘争，そのための大衆動員だ。上海で組織された学生の紅衛兵が造反有理をスローガンに北京に攻めのぼり，明代の王朝劇の上演を容認した劉少奇・鄧小平は走資派として糾弾された。毛沢東

の後継者と目された（　11　）はクーデタに失敗しモンゴルで墜落死した(1971)。この時期台頭したのが毛沢東の妻江青ら四人組。

1971年北京政府は国連代表権を獲得，台湾から北京に乗り換えた米ニクソン大統領の訪中は1972年。田中角栄首相も訪中し日中国交正常化が実現。日中平和友好条約は1978年。米中国交正常化はカーター大統領の1979年。

1976年。

周恩来が死去。群衆が追悼に集まり鄧小平が引責失脚(第１次天安門事件)。さらに毛沢東も死去。後継者は華国鋒。彼が四人組を逮捕し文化大革命は終結した。

その華国鋒を自己批判に追い込み失脚させ３度目の復活を果たしたのが「白い猫でも黒い猫でもネズミをとるのが良い猫だ」と述べた鄧小平だ。1977年，四つの現代化路線(農業・工業・国防・科学技術)が確認され，彼は1978年から改革開放に着手した。人民公社を廃止し生産請負制を採用した。沿岸部には経済特区(代表が深圳・厦門)を置いた。

1989年６月。

改革開放路線を進めた胡耀邦の死を悼み学生らが北京天安門に集まった。群衆のトーンは次第に反政府となり，共産党政府は人民解放軍の戦車で学生を圧殺した。第２次天安門事件だ。趙紫陽が引責失脚となる。

1990年代の中国は江沢民の時代。社会主義計画経済を推し進める。

（　12　）年には鄧小平が死去。香港がイギリスから返還され一国二制度となる。1999年にはマカオがポルトガルから返還された。

【台湾】　もともとの住民の本省人を蔣介石ら国民党と入ってきた外省人が殺害する２・28事件(1947)が起こる。以後も対立が続く。

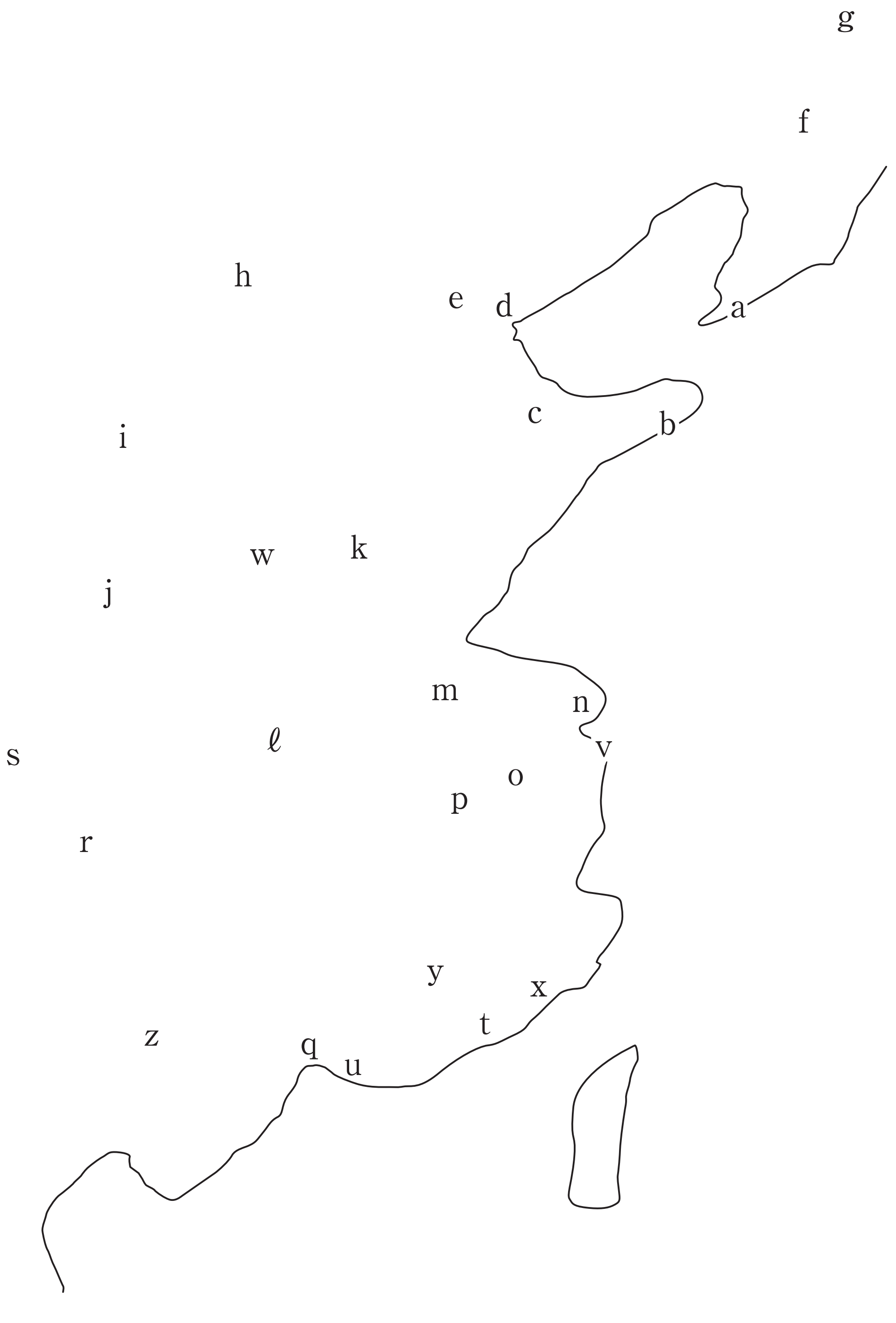
1958年には厦門沖の台湾領金門島を中国が砲撃し緊張が高まった。

蔣介石→厳家淦→蔣経国→李登輝と国民党政権が続いたが，次の陳水扁は民進党，馬英九でまた国民党に戻った。2016年に民進党の蔡英文。

国民党の主張は，中華民国は１つで首都は南京。

民進党の主張は，台湾は独立国で首都は台北。

共産党の主張は，中華人民共和国は１つで台湾はその一部で首都は北京。


g
f
h
e
d
a
c
b
i
k
w
j
m
n
ℓ
v
s
o
p
r
y
x
t
z
q
u

1）日明貿易拠点，南京条約で開港

2）1927年外国人虐殺，アヘン戦争の条約

3）1911年四川暴動

4）陶磁器の町

5）経済特区，アヘン戦争で開港

6）経済特区，1997年まで英との国境

7）拝上帝会を洪秀全が組織

8）中華ソヴィエト共和国臨時政府

9）長征終了，共産党の聖地

10）1914年に日本が攻撃

11）アロー戦争で開港

12）五・四運動，盧溝橋事件

13）唐代に市舶司設置
清代に公行設置

14）張作霖爆殺，ヌルハチの都

15）満州国の都

16）1905年の関東州，カイロ宣言で没収

17）竜門石窟，中原の中心

18）雲崗石窟

19）辛亥革命，1927年汪兆銘政府

20）1937年蔣介石政府，ゼロ戦爆撃

21）南宋の都, マルコ=ポーロ絶賛

22）五代の４つと北宋の都

23）1936年に蔣介石監禁される

24）北伐軍と山東出兵が衝突

25）蔣介石が1927. 4.12に共産党員虐殺

26）マルコ=ポーロが帰路絶賛した港

5 朝鮮史

衛氏朝鮮を前漢の武帝が平定し楽浪などの４郡(のこりは真番・臨屯・玄菟)を設置したが，楽浪郡は313年にツングース系の高句麗により滅ぼされた。高句麗は494年に同じツングース系の扶余(夫余)を滅ぼした。

韓族対策として楽浪南方に設置されたのが帯方郡で，大和政権の卑弥呼の朝貢窓口となった。高句麗の広開土王の碑文は鴨緑江のほとりの丸都(中国・吉林省集安)にある。のち平壌に遷都した。

南部の韓族のうち辰韓が発展した新羅は唐と組んで，馬韓が発展した百済を滅ぼし(660)，663年の白村江の戦いで倭の水軍を撃退した後，高句麗を滅ぼし(668)，唐も駆逐し(676)，朝鮮半島を統一した。新羅の都は慶州で仏国寺があるので仏教国である。血縁的身分制を骨品という。

918年には王建が高麗を建国，都は開城だ。科挙受験資格がある特権身分を両班といいこれは20世紀まで続く特権階級。この王朝では，青磁と世界初の金属活字とモンゴル軍撃退を仏に祈願する大蔵経(仏教的祈願)が有名。江華島防衛軍が三別抄だ。

高麗の倭寇撃退のヒーローの(　13　)がクーデタで，仏教でなく朱子学によってたつ朝鮮(李朝)を1392年に開くが，これは世界史上最長の王朝だ。都は漢城(漢陽)＝ソウル。２代目皇帝の太宗が科田法で官位に応じて給田した。明をモデルとした同王朝は，華夷の別をしっかりつける小中華思想と事大主義が特色だが，それが19世紀に親清派の事大党と親日派の独立党の対立を生む。庶民の文字が４代世宗が1446年に公布した訓民正音(ハングル)。最後の倭寇，豊臣秀吉を亀甲船で撃退したヒーローが李舜臣だ。江戸徳川幕府の代替わり毎に計12回，朝鮮通信使を日本に派遣した。

【日清戦争まで】　19世紀後半の朝鮮(李朝)は高宗李太王の父，大院君が摂政となり鎖国政策を採っていた。明治維新後の日本は江華島事件を契機に1876年の日朝修好条規で釜山，仁川，元山を開港させた。皇后閔妃に政権を奪われた大院君派のクーデタが壬午の政変で，勢道政治(一族による寡頭政治)を展開した閔氏一族も日本公使も殺害された。親日派独立党で甲申事変(1884)というクーデタに失敗し，清の李鴻章により八つ裂きにされたのが金玉均。清を宗主国とする事大主義がいまだ根深かったことを示す事件だ。この事件の天津条約の約束にしたがい，甲午農民戦争(東学党の乱)の鎮圧を口実に日清両国が出兵し衝突したのが日清戦

争だ。東学とはキリスト教(西学)に対抗し1860年頃に崔済愚が起こした思想で,(　14　)が東学党の乱の指導者だった。

【日露戦争まで】 1895年の下関条約で日本は遼東半島を獲得したが,李鴻章がロシアに接近,結果ロシアは独仏と三国干渉し同半島を返還させた。朝鮮では日本が閔妃殺害で非難を受けたのを契機に清から独立した高宗はロシアに接近し,1897年に親露の大韓帝国ができた。翌1898年に,ロシアが清から旅順・大連を租借。また1900年の義和団事件後もロシアは満州から退かなかったことが,1902年の日英同盟結成の要因になる。1903年にシベリア鉄道が完成し,清から租借した東清鉄道とつながる脅威と日露交渉の決裂は,1904年の日露戦争の原因となる。

【韓国併合まで】 1905年のポーツマス条約の同年,日米は桂＝タフト協定で日本の朝鮮,米のフィリピン,英のインド支配を相互承認。1905年の第２次日韓協約で韓国統監府(伊藤博文)を設置,1907年のハーグ密使事件の翌月の第３次日韓協約で内政権も掌握したので反日義兵闘争が激化した。この年,日本は日仏協約でフランスのベトナム支配,日露協約でロシアのモンゴル支配を,日本の朝鮮支配承認と交換で承認した。この時期は帝国主義時代まっただ中。ハーグのあるオランダですら1904年にオランダ領東インド(現インドネシア)を成立させている。だからハーグの万国平和会議は高宗の訴えを却下した。1909年には,義兵の安重根がハルビンで伊藤博文を暗殺。翌1910年には韓国併合がなされ,朝鮮総督府(寺内正毅)が設置された。

【独立まで】 韓国併合後,日本は武断政治を実施した。第一次世界大戦終結時のパリ講和条約において「民族自決」が唱えられると,高宗李太王の葬儀に集まった群集による三・一独立運動がソウルで起きた。この1919年に上海に大韓民国臨時政府が設立された。日本は「懐柔政治」に転じ統制を緩め民族運動を分析。

1930年代,日本が軍国主義の時代に入ると創氏改名・神社参拝強制などの一連の皇民化政策が実施された。朝鮮共産党は1925年に結成されたが,第二次世界大戦中には金日成が抗日パルチザンを敢行した。

戦後は,北緯38度以北をソ連が,以南をアメリカ合衆国が占領し,1948年にソウルを首都として大韓民国が李承晩を大統領として,ピョンヤン(平壌)を首都として朝鮮民主主義人民共和国が金日成を首相として発足した。

【独立後】 1949年10月１日に中華人民共和国が成立,1950年に中ソ友好同盟相互援助条約が締結されると,北朝鮮が南進し釜山まで迫り,朝鮮戦争が勃発した。ソ連がボイコットした国連安保理は北の侵略と見なしマッカーサーを総司令官として国連軍を結成し仁川に上陸し鴨緑江まで押し上げた。スターリンが毛沢東に

指令を出し中国義勇軍が結成され，人間の盾を作って南進，マッカーサーは原爆使用を主張して解任された。ソ連マリク外相の提唱で，まず開城そして（ 15 ）で休戦交渉が始まり1953年に休戦となった。

朝鮮戦争の間にサンフランシスコ平和条約で日本は戦勝国と講和，同時に日米安全保障条約を締結し，警察予備隊（現在の自衛隊）が発足した。また，アメリカ大統領がトルーマンからアイゼンハワーになった。韓国は朴正熙が開発独裁を進め北朝鮮を凌駕（漢江の奇跡），また1965年日韓基本条約で日本との国交が回復した。1973年には民主化運動の指導者金大中が東京のホテルから拉致された。全斗煥は民主化運動を弾圧して大統領に就任（＝光州事件）した。盧泰愚の1988年にソウル＝オリンピックが開催され，1991年南北が国連に同時加盟した。久々の文民大統領金泳三の1994年にアメリカ合衆国とともにＫＥＤＯ（朝鮮半島エネルギー開発機構）の枠組みが開始し，北朝鮮が核開発をしないことと交換条件に軽水炉や原子力発電所開発を援助することになったが，アメリカも韓国も日本も見事に金正日に騙された。1998年からは金大中が大統領になり韓国が本格的に民主化した。2000年には金正日との南北首脳会談，北朝鮮宥和政策，太陽政策を展開した。2011年から金正恩つまり“ロケットマン”氏。2018年に米トランプ大統領とクアラルンプールで，2019年にはハノイで会談した。

テキスト解答

空欄解答

1．八旗
2．軍機処
3．ジャーディン＝マセソン商会
4．円明園
5．扶清滅洋
6．利権回収運動
7．デモクラシーとサイエンス
8．連ソ・容共・扶助工農
9．中華ソヴィエト共和国臨時政府
10．大躍進
11．林彪
12．1997
13．李成桂
14．全琫準
15．板門店

下線部訂正問題 他

Ｐ２　ポルトガル人　→　オランダ人

Ｐ３　百科全書　→　四庫全書

Ｐ４　江西省金田村　→　広西省金田村

Ｐ５　中体西洋　→　中体西用

Ｐ６　山西省　→　山東省

Ｐ７　毛沢東　→　陳独秀

Ｐ９　パリ講和会議　→　ワシントン会議

P10　武漢　→　重慶

P12　農地改革　→　土地改革（法）

P13　社会主義計画経済　→　社会主義市場経済

P16　大和政権　→　邪馬台国

P17　懐柔政治　→　文化政治

P18　クアラルンプール　→　シンガポール

Ｐ８〈☆20世紀前半〉解答

1　興中
2　孫文
3　中国同盟
4　東京
5　辛亥
6　中華民国
7　二十一カ条
8　五・四
9　山東
10　柳条湖
11　盧溝橋
12　国民
13　蔣介石
14　台湾
15　新青年
16　共産
17　上海
18　瑞金
19　周恩来

P11 〈☆中華人民共和国〉解答

1　中ソ友好同盟相互援助
2　大躍進
3　人民公社
4　毛沢東
5　ダマンスキー島で中ソ
6　(プロレタリア)文化大
7　毛沢東
8　劉少奇
9　紅衛兵
10　日中
11　米中
12　改革・開放
13　生産請負
14　経済特区
15　鄧小平
16　第2次天安門
17　社会
18　市場
19　香港
20　マカオ
21　WTO(世界貿易機構)

P14～15　中国地図問題解答

1）寧波　v
2）南京　m
3）成都　s
4）景徳鎮　p
5）厦門　t
6）深圳　u
7）金田村　z
8）瑞金　y
9）延安　i
10）青島　b
11）天津　d　（天津条約でm，l）
12）北京　e
13）広州　q
14）瀋陽　f
15）新京（現，長春）　g
16）大連　a
17）洛陽　w
18）平城（現，大同）　h
19）武昌（武漢）　l
20）重慶　r
21）杭州（臨安）　o
22）開封　k
23）西安　j
24）済南　c
25）上海　n
26）泉州　x

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。